

メモ.14

テレビやゲームとてんかん

10年以上前の話ですが、テレビアニメの放送中に子どもたちの一部がけいれん発作を起こしたことがありました。これは光過敏性てんかんというてんかんの症状で、映像の中に含まれる強い刺激の光や点滅により、てんかん発作が誘発されたためにおきました。てんかんのある人の一部で見られる症状で、子どもの方で頻度が高いとされますが、大人でも見られます。脳波検査の際に光刺激による反応を調べますが、そこで異常があった場合も注意が必要かもしれません。テレビアニメに限らずテレビゲームで発作が誘発された事例もあり、極度の刺激であれば、どんな光や視覚的な刺激によっても発作が誘発される可能性があります。「テレビを見るときは部屋を明るくしテレビから離れてみてください」という表示を普段目にすることも多いと思います。先述の事件以降、テレビ放映やゲーム等における映像や光の点滅には十分に注意が払われるようになり、普通に視聴する分にはほとんど問題はないでしょう。だからと言って、一日に何時間もテレビやゲームにはまってしまうと、規則正しい生活リズムへの影響や目の疲れにつながりますので、気をつけた方がよいでしょう。

